

とり村回覧板

Vol.
32

2023年 冬号

認定NPO法人TSUBASA
「人・鳥・社会の幸せのために」
tel.048-480-6077
www.tsubasa.ne.jp
埼玉県新座市中野2-2-22

【レスキュー文鳥たち】

2021年10月にレスキューした文鳥たちです。当初は103羽いましたが、新たに里親さんが決まったり、残念ながら亡くなってしまった子もあり、現在は30羽となりました。(2022年12月現在)レスキュー当初は人が部屋に入っただけでもパニックを起こすほどでしたが、今では人が近づいても以前ほど暴れることは無くなり、人前でも



リラックスするようにもなりました。たまに小競り合いはあるものの、仲間同士で寄り添って過ごす姿をよく見かけます。過酷な環境を生き抜いてきた彼らだからこそ、今後は里親さんのもとで、穏やかな余生を過ごしてほしいと願っています。レスキュー文鳥たちは現在でも随時里親募集中です。

レスキュー文鳥
里親会についてはこちら



TSUBASA

「The Society for Unity with Birds – Adoption and Sanctuary in Asia」
(鳥と調和のとれる社会 – アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念に
レスキュー活動をする団体です

TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対してより良いバードライフのご提案と適正な飼育のための啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥たちを引き取り(里子制度)、
新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

回覧板を 設置して下さいますか?

広く、皆さまに活動を
知っていただく事を目的とし
本誌を発行しております。
回覧板を設置して下さる団体様、
施設様を随時募集しています!



CONTENTS

Vol.32

- 愛鳥祭 バーチャルMTB..... 1
- 愛鳥祭 その他イベント..... 2
- お気に入り大調査～シード編～..... 3
- 残された愛鳥さんにできること?..... 5
- セミナー開催レポート..... 6
- 2022年鳥の出入り/新入職員紹介..... 7

オンライン 2022 愛鳥祭

バーチャル MTB

2016年開催の第1回愛鳥祭からの試みであるバーチャルMTB。
2022年オンライン愛鳥祭では、これまでのプロセスに改定を加え、より日本全国の皆さまにご覧いただける形で企画しました。

TSUBASAの里親会：MTB (Meet The Bird) とは？

コンセプトは「人が鳥を選ぶのではなく、鳥が人を選ぶ」です。施設に複数回お越しいただき、鳥と会っていただくことにこだわってきましたが、それゆえに遠方の方だと里親へのハードルが上がる難しさがありました。そこでバーチャルMTBでは、Youtubeライブの視聴やZoomでの面談により、施設への訪問回数を減らし、遠方の方でも里親に立候補しやすい流れにしました。
(ただし、鳥によってはより多くの面会をお願いすることもあります)



通常のMTBの流れ

★：施設への訪問

- 1 MTBに参加(定期的開催)★
- 2 気になる鳥がいたらスタッフへ相談(仮登録)
- 3 約2週間後に二次面会(ご家族同伴)★
- 4 ホームステイの準備
(TSUBASAの鳥の健康診断+ご自宅の鳥の健康診断)
- 5 レクチャーを受け、鳥を連れて帰る★
- 6 ホームステイ期間(1~2週間、必要に応じてホームステイの延長もしくは中断あり)
- 7 双方同意の元、問題がなければ里親決定

=★★★★最低3回の訪問が必要

バーチャルMTBの流れ

★：施設への訪問

- 1 愛鳥祭バーチャルMTBにオンライン参加
- 2 気になる鳥がいれば申し込みフォームより申請
(仮登録として2羽まで選ぶ)
- 3 ZOOMを通してスタッフと個別面談
- 4 希望鳥と面会(2羽と面会し、1羽に絞る)★
- 5 ホームステイの準備
(TSUBASAの鳥の健康診断+ご自宅の鳥の健康診断)
- 6 レクチャーを受け、鳥を連れて帰る★
- 7 ホームステイ期間(1~2週間、必要に応じてホームステイの延長もしくは中断あり)
- 8 双方同意の元、問題がなければ里親決定

=★★最低2回の訪問が必要

バーチャルMTBで募集中の鳥たち

今回は計39羽の鳥たちを対象とし、少しでも鳥たちの様子を身近に感じてもらうために、それぞれスタッフが担当して動画を作成しました。

NiziU-WA (オカメインコー斉引き取り)



ドテ@ゴシキセイガイインコ



ちとせ@ワカケホンセイインコ



さんとき@オオキボウシインコ



ミナト@オオハナインコ



バーチャルMTBの
説明会
+
その他の鳥たちの
動画はこちら



愛鳥祭以降の実施は未定ですが、今回のバーチャルMTBをきっかけに、今後も常時全国の方に里親になっていただけるよう、改良を重ねつつ開催していきたいと思っています。もちろん、バーチャルとなっても実際に鳥に会うことは大事にしていますが、会う前から少しでも鳥たちのことを理解していただくことで、更なるご縁につながれば嬉しいです。

その他
イベントも
盛りだくさん!

TSUBASA 初企画! 「愛鳥さんカラーの寄せ植えを作ってみませんか?」

講師に専門家の秋山先生をお招きし、愛鳥さんをイメージした寄せ植えを作る方法を学べる講演会です。大勢の方がご参加くださり、植物の質問をしたり講演後に寄せ植え作品を投稿して下さったりととても楽しいイベントになりました。寄せ植えは、2~3ヶ月植物の変化を楽しむことができます。鳥たちとの暮らしを楽しむことと、どこか類似している点があったのかもしれませんが。今後も新しい企画にチャレンジしていこうと思える大成功のイベントでした♪



愛鳥祭
恒例
企画!

第19回TSUBASAシンポジウム

今年も豪華な講師の先生方に録画での講演をお願いしました。鳥さんとの暮らしの基本的なことから、今伝えたいホットなテーマまで、とても充実したシンポジウムとなりました。普段なかなか聞くことができない貴重なお話を、全国各地に届けられたことは本当に嬉しく、オンラインならではの良さを改めて実感しました。この場をお借りしまして、お力添えをいただきました講師の先生方に心より御礼申し上げます。

事故や病気を防ぐために日頃できることを考える
たかつき小鳥の病院 院長 上田 通裕先生
23日(金) 13:00-14:00
24日(土) 16:00-17:00
25日(日) 19:00-20:00

万が一のためにできること
~迷子・その時慌てないために備えよう!~
ALETTA代表 石綿美香
23日(金) 16:00-17:00
24日(土) 19:00-20:00
25日(日) 11:00-12:00

ポルナウイルス ~Borna virus~
小鳥のセンター病院 院長 池谷 真樹先生
23日(金) 19:00-20:00
24日(土) 13:00-14:00
25日(日) 15:00-16:00

愛鳥祭
恒例
企画!

おもちゃ作り教室

今年も2日間オンラインとなったおもちゃ作り教室ですが、今回は小型鳥さん向け、中・大型鳥さん向けという風に、グループ分けをして開催しました。そうしたことで、より参加者様同士の会話が弾んでいたり、終始まったりとした雰囲気イベントとなりました。教室終了後には、ご参加いただいた皆さまから、作ったおもちゃで遊んでいる様子のご報告もいただきました。そんな楽しそうな鳥さんたちの様子を拝見する時が、やりがいを感じる瞬間でもあります。



TSUBASA 初企画! フォトコンテスト

スタッフが4つのお題に沿って鳥さんたちの写真を撮影し、どれがお題にぴったりかを皆さまに投票していただく参加型のイベントでした。少しでもTSUBASAの鳥たちのご縁にも繋がれば…という期待も込めた、スタッフも楽しんだイベントでした!ご参加いただいた皆さまから、「楽しかった」「またやってほしい」という嬉しいお声をたくさんいただきましたので第2回もあるかもしれません。乞うご期待!

①決め顔部門②躍動感&変顔部門③写真で一言部門④仲良し部門

TSUBASA 初企画! ファッションコンテスト

ここ数年のコロナ禍で、愛鳥さん自慢の鳥さんコーデをお披露目できる機会も減ってしまっているのでは…ということで、オンラインでのファッションコンテストを開催しました!そして、たくさんご応募いただいた中から、見事BEST鳥推し賞に選ばれたのは、こちらのコーデです!



賞品として、愛鳥さんの写真をプリントしたオリジナルピルケースを進呈いたしました♪



企業・クリエイターさん

今年の愛鳥祭も昨年に続きオンラインで、開催日数を9日から3日に短縮しての開催となりました。にもかかわらず35名のクリエイター様、2社の企業様にご参加いただき誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。昨年は現地開催の雰囲気や再現しようとユーザーインターフェイスを公園の中にテントを配置したイメージ画像にしていたが、逆にわかりづらいとの反省からシンプルなものにしました。募集開始の告知から出品画像や動画、原稿の締め切りが短すぎてご迷惑をかけてしまいました。今後はスケジュールに余裕を持って臨める様にしたいと思います。来年には現地開催出来るようになる事を切に願っております。

愛鳥祭総括

3日間にわたり開催した愛鳥祭。今までに開催したことのないイベントが盛り沢山でした。準備も少し大変ではありましたが、今後に活かせるような楽しいイベントをたくさん発見できたので、スタッフとしても収穫がありました。今回開催のできなかったお蔵入りイベントなどは、どこかでできると良いなと思っています。また来年、現地でも画面上でもお会いできますと嬉しいです。ご参加いただきました皆さま、改めて本当にありがとうございました!

お気に入り大調査～シード編～



point 1. 最初に食べるシードは好物!

当たり前の事ですが、真っ先に食べるのはその子の好みのシードです。多くの鳥用シードの中には複数の種子・種実が含まれています。その中から鳥たちは好きな物を先に食べ、それが無くなったら他のものを食べます。普段からよく観察し、一番好きなシードを知っておきましょう。

point 2. 好物がどんな物か知っておこう

好きなシードというのは高カロリーでおいしい可能性があります。鳥によって好みは異なるので、好きなシードの名前が判明したらその種子の栄養素を把握しておきましょう。栄養素については、インターネットで検索したり、当団体が発行している「ペレット読本」などにも掲載されていますので参考してみてください。
「ペレット読本」についてはこちら▶



知って得する好物シードの話①

▶▶▶▶▶たくさん追加する

鳥さんの食が細い場合や体調不良の場合、好物のシードを単品で購入し多めに与えることで効果的に自己採食を促せます。単品でもシードを購入できるのでぜひやってみてください。

※シードの種類によっては消化に悪い物があるので、看護中は獣医師と相談してください。

知って得する好物シードの話②

▶▶▶▶▶主食から外す

好きなのに抜いちゃうの?と思われるかもしれませんが、好きな物だからこそ、常に入れて目新しさが無くなるより、違う使い方をするという方法もあります。

例えば、普段の食事に入れず、手からだけ与えるようにすることで飼い主との距離が縮められたり、トレーニングをする際のオヤツにすることもできます。

また、好きなシードはそれだけを選んで食べてしまう傾向があるので、栄養素が偏ったりカロリーが多すぎる場合があります。シード食でダイエットを考えている場合には、まず鳥さんの好物が市販のシードミックスの中でもカロリーの高い物ではないか確認する必要があります。

市販のシードには様々な物がありますので、好物が高カロリーだった場合にはそれらを含まない、あるいは少ない商品を購入したり、思い切ってペレット食に切り替える事を考えることもお勧めします。ちなみに、TSUBASAでは太って欲しくない鳥さんにシードを与えるときは、【ヒエ・アワ(赤/白)・キビ】だけのシードミックスにしています。そしてできるだけ早く、ペレット食に切り替えるようにしています。

食事は鳥たちの生命維持・健康維持に欠かせない重要な物です。飼い主さんご自身が食べている物が何かわからないなんてことは普段ありませんよね。

それと同じで、愛鳥さんが好んで食べている物が何かを知っておきましょう。

次のページでは全てのシードを網羅しているわけではありませんが、写真を掲載しています。

ぜひ、鳥さんの好きなシードが何かを知るきっかけにご活用下さい。それでも愛鳥さんのお好みのシードの種類がわからない場合には、パッケージの後ろの内容物の品名を見てネットなどで名前検索してみてください。

必ず、そのシードの写真が出てくるはずですよ。



愛鳥さんの主食が種子類(シード食)の飼い主様から、こんな質問をお寄せいただく事があります。

「シードの中から選んで好むのがあるけれど、それが何かわからない…」

そこで、好みのシードが何かを知っておくことの重要性と、シードの種類を判別するために写真を集めました。ぜひお役立てください。

TSUBASAでよく使用するシード一覧

●写真左側: 食べた後のシード(シードの殻・皮) ●右側: 食べる前のシード



①オーチャードグラス

TSUBASAでは小型鳥の野菜に混ぜたり、おやつとして使用しています。



②ヒエ

アワ・キビとともに基本的なシードです。



③アワ

赤アワ、白アワの2種類があります。



④キビ

消化機能が落ちている鳥(特に小型鳥)は注意が必要です。



⑤ニガーシード

小さいシードですがカロリーが高いため与えすぎには注意が必要です。



⑥カナリアシード

嗜好性が高いため偏った食事にならないように注意が必要です。殻の中に黒い実が入っています。



⑦ソバの実

TSUBASAでは太り気味の大型鳥のおやつとして使用しています。



⑧麻の実

嗜好性が高いシードです。殻の中に緑色の実が入っています。



⑨オーツ麦(殻むき)別名エン麦

中身は粉状になっているため消化にやさしいです。大型鳥が食べると皮は残りません。



⑩オーツ麦(殻付き)

TSUBASAでは太り気味の大型鳥のおやつとして使用しています。



⑪サフラワー

カロリーが高いです。TSUBASAの鳥は好みに分かれるシードです。



⑫ひまわりの種

高カロリーで脂質が多いため常食にはオススメできません。

各シードのおおよそのサイズ感がわかるように、一列に並べました。

ひまわりの種を基準に比較してみてください。

左から番号順に並んでいます。



これは看護中の小型鳥のご飯(食後)を撮影したものです。この鳥は何を食べたのでしょうか? 上の写真と見比べながらぜひ考えてみてください。(答えは本誌7ページの下部に掲載)



クイズに挑戦!

残された愛鳥さんのために できること？



最近テレビで日本財団やユニセフなどが「遺贈寄附」のCMを放映していますが、ご覧になったことがありますか？

縁起でもないですが、高齢や病気に関わらず私たちは、いつ、どこで、どんな「事」が起こるかわかりません。

特に最近では新型コロナや地震、そして気候変動による災害なども「事」のひとつです。さらにロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮の脅威、そして中国による台湾侵攻の可能性など、今までのように平穏に暮らせない世の中になってきた、と感じているのは私だけでしょうか！？

このような前振りで「遺贈寄附」のことを書くと、いよいよTSUBASAも新手的な寄付を募ってきたのか、と思われるかもしれませんが、これは遺贈する方にとっても、社会的な課題解決に活動をしている団体にとっても、お互いメリットがあることなのです。

私たち愛鳥家に置き換えると、鳥をお世話している飼い主さんにとって、我が身に何かあった時、愛鳥さんをどうすればいいのか、という課題解決のヒントになるかもしれません。よろしかったら以下、お読みいただけたら幸いです。

「遺贈」と「相続」は混同して使われている場面も多くあり、あまり聞きなれない言葉かもしれません。

相続とは、お亡くなりになった方の財産を、法律で定められた相続人（詳細は割愛します）が引き継ぐことをいいます。

一方、遺贈とは、遺言書を作成し、財産の全部または一部を特定の個人あるいは団体に無償で譲渡（贈与）することです。

相続人のいない財産は国庫に納められますが、遺贈を行うことで、自分の財産を役立ててほしい分野にお金をのこすことができます。自分の財産の行方を、自分で決めることができます。



ここで重要なことは私たち愛鳥家には愛鳥さんがいることです。もし自身が亡くなった場合は、予め遺言書を作成した団体に愛鳥さんを委ねることができます。しかし認知症などで自身が判断できない状況になったとき、愛鳥さんはどうしたらいいのでしょうか。

ここが重要で、遺贈寄附を取り扱う組織はTVのCM等の団体があります。しかし愛鳥さんの行く末までをサポートしてくれる団体はありませんでした。

今回、私たちがご紹介するのは、「READYFOR遺贈寄付サポート」という団体です。

「READYFOR遺贈寄付サポート」は、端的に言うといろいろな相談に乗ってくれる窓口です。

強みは、相談は何度でも無料で、行政書士や税理士といった専門家のネットワークが豊富です。なので、相談者にあった提案をしていただける可能性が高いと思います。

とは言ってもどんな相談に乗ってくれるのでしょうか！？

いくつか例をあげてみたいと思います。

- ・自分に何かあったとき、鳥さんをきちんと世話してくれるところへ任せてもらうためには何をどうしておいたらいいの？
- ・遺贈するほどお金持ちじゃないんだけど、、、
- ・そもそも将来どのくらいの財産残っているかわからないし。などです。

実は、現在までに約2万件の社会活動を支援したネットワークを活かし、あなたの意思にあった方法のご提案や、必要に応じて行政書士さんや税理士さん等のご紹介をさせていただきます。

「READY FOR遺贈寄付サポート」のホームページ内にそのものずばりのコラムがあります。

もしものとき、ペットはどうする？

遺贈寄付の無料相談窓口

「レディーフォー」(readyfor.jp)



遺贈寄付は、あなたの想いを亡くなった後も実現し、社会に役立てることができる手段です。

あなたの寄付はその想いととも、寄付先団体や身の周りの人々の記憶に残り、この世に生きた証をのこすことができます。

寄付は、寄付を受ける側だけでなく、寄付をする側にとっても、自分らしい人生を生きる活力となります。

ご興味がある方は以下のサイトをご覧くださいませ幸いです。

「レディーフォー遺贈サポート窓口」<https://izo.readyfor.jp>

TSUBASA史上最大規模のセミナー 開催レポート

スキルアップセミナー会場(都立産業貿易センター浜松町館 展示室)

「スキルアップセミナーを開催しませんか？」

スタッフのこの一言で、TSUBASA史上最大規模のBLA2級スキルアップセミナーが決まりました。

元とは言えば愛鳥祭を開催する予定でした。そのために1年前にリニューアルしたばかりの「浜松町館」という会場を借りました。

「1年後にはきっとコロナも落ち着いているだろう」という憶測は見事に外れました。

コロナ禍でもイベント開催が許可されるようになりましたが、会場の規定は厳しく、参加人数を制限しなくてはなりませんでした。制限された人数だとクリエイターさんは入れても、お客様は一人も入れられないという絶望的な状況でした。

つまり私たちが開催してきたイベントの中では最大級の広さです。ここでしたらソーシャルディスタンスを保つことができます。またこの会場でしたら、BLA2級のスキルアップでぜひやりたかったことができそうな気がしていました。やりたかったこと、それが「ワークショップ」です。

TSUBASAで開催するセミナーのほとんどが講義形式なので受講者はインプットが中心です。

BLA2級を持っている皆さんは志が高く、各自それなりの意見や考えを持っていらっしゃると思います。その意見や考えをワークショップでアウトプットしてほしいと思いました。

テーマや発表内容につきましては割愛しますが、どのチームも



ワークショップ

スキルアップセミナー



会場後方

浜松町館近く



かといって会場をキャンセルすると高額のキャンセル料を支払わなければなりません。

愛鳥祭を開催しても、キャンセルしても、という八方塞がりの中、何度もミーティングを重ねていたときに出了意見が冒頭の発言でした。

TSUBASAとしては約3年ぶりの対面のセミナーです。心配なのは対面式でソーシャルディスタンスが保てるかどうかです。しかし浜松町館の広さは約1,530平方メートル。約460坪です。



熱心に話し合いをし、立派な発表をされました。スキルアップセミナーのメリットは、多くの人の意見や考えを聞けることです。濃密な2日間のスキルアップセミナーでしたが、充実した素敵な時間だったのではないかと思います。

この経験を踏まえ、東京開催のように講師全員を呼ぶことはできませんでしたが、BLA2級開催地で同様のスキルアップセミナーを開催しました。

このスキルアップセミナーがBLA2級の皆様にとって、「鳥とあなたが幸せになる」ことに繋がれば幸いです。

そして、「一羽でも多くの鳥と、一人でも多くの飼い主さんが幸せになる」原動力になることを願っています。

2022年1月～12月 鳥の出入り

受け入れ羽数 35羽

今年は理由として「飼い主様のご都合」6件、「飼い主様のご病気」11件、「鳴き声による飼育困難」5件となっており、例年より家庭の事情による手放しが多い傾向にありました。

これはコロナ禍における勤務形態や生活環境の変化が影響しているものと思われます。

また、レスキュー案件はありませんでした。

来年もレスキュー案件が無いことを切に願います。



里親制度ついて詳しくはこちらから！



里親決定羽数 54羽



今年もMTB(里親会)開催回数が例年より少ないにもかかわらず、54羽もの鳥たちが新たな家族としてお迎えいただけました！この場を借りてお礼申し上げます。

今年も新たな取組みとしてバーチャルMTBを実施致しました。残念ながら里親決定には至りませんでした。課題も見えてきましたので、また挑戦したいと思っております。

新入職員ご紹介



みなさま初めまして。2022年4月に入职しました清水有紀(しみず ゆき)と申します。東京コミュニケーションアート専門学校出身です。専門学校の飼育当番を通して鳥の魅力に目覚め、鳥に関わる仕事がしたいと思いTSUBASAに就職しました。

個人で生き物を飼育したことがなく、飼育の経験は浅いですがTSUBASAの鳥たちや、みなさまのお役に立てるように頑張ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



みなさま、初めまして。2022年5月に入职した喜連川直樹(きれかわ なおき)と申します。前職は犬の保護団体に所属しており、鳥の保護団体に活かせるよう1年間勉強しておりました。鳥の飼育に関してはまだまだ知識が不足しておりますが、得意のコンピューター関係の知識を活かして、TSUBASAの活動に少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

4P お気に入り大調査～シード編～ クイズの【答】 ①オーツ皮なし ②ヒエ ③キビ

【重要なお知らせ】

2023年1月現在、新型コロナウイルス感染防止対策として、施設開放を中止しております。鳥たちの見学等ができませんので何卒ご了承ください。最新の情報はHPをご覧ください。

TSUBASA 公式サイト▶www.tsubasa.ne.jp

認定NPO法人 TSUBASA 埼玉県新座市中野2-2-22

【Tel】048-480-6077 【Fax】048-480-6078 【e-mail】tsubasa0615@gmail.com

【発行元】認定NPO法人 TSUBASA
松本壯志／浦井智美／望月健人／
城ヶ崎裕海／佐藤忠行／清水有紀／
喜連川直樹

【発行】2023年1月
次回発行は2023年7月予定です。

誌面の情報は発行日現在のものです。
情報に変更が生じる場合がございます
のでなにとぞご了承ください。